Beyondワークβ　Project Sheet　【L】気仙沼ワーケーションスポット立ち上げプロジェクト

●こんにちは！志田淳（しだあつし）・グラフィックデザイナーです

1992年生まれ。宮城県気仙沼市出身。麻布大学卒。
大学在学中にデザインを始め、気仙沼Uターン後にグラフィックデザイナーとして独立。市内クラフトビール企業のラベルデザインや、日本酒ラベルデザイン、ポスター、フライヤーなどのデザインを手掛ける。また市と協働のまちづくり組織「気仙沼まち大学運営協議会」においての活動や、コミュニティFMでのラジオパーソナリティなど気仙沼市内で多角的に活動。妻と娘の３人暮らし。

●私の志

気仙沼市は水産業を中心として成り立っているまちです。
世界に誇れる商品がありながらも、パッケージデザインやマーケティングまでこだわりきれている企業はそこまで多くありません。昨年、ふるさと納税の返礼品用に市内企業20社ほどのバナーデザインを改変したところ、前年より全体の寄付額が約300%増、そのうち40%がデザインを変更したのみで商品自体は変わっていないものという結果も出ました。デザイナーを含めたクリエイターの存在が、まちの産業を後押しできるポイントになるのではないかと考えています。

●プロジェクトの概要

日本中のクリエイターが気仙沼を目指してワーケーションをしに行きたいと思える場所を作る。
その場所は「市内事業者がデザインの相談を気軽にしに行けるギャラリー」「クリエイターが集中して作業できる個室ワークスペース」「中高生などが大きなキャンバスを広げて制作をできるスペース」の３つの機能を備えたものにする予定です。案件が集まる場所、制作がしやすい環境、日本全国のクリエイター同士がリアルに繋がれるスポットができることで、市内の事業者をサポートできると考えています。

Beyondワークβ　Project Sheet

【L】気仙沼ワーケーションスポット立ち上げプロジェクト

●この事業・プロジェクトの目指したいゴール

・気仙沼市内において「デザインを相談するならあそこに行こう」という認識が広まっている状態
・事業者が持ち込むデザイン案件と、市内のデザイナー、ワーケーションで来ているクリエイターとのマッチングができている状態
・日本全国の駆け出しのクリエイターが、案件を求めに気仙沼を訪れる状態
・クリエイター以外の人も、オンライン会議や作業をする際に、この物件を使用している状態（個室作業スペース×６部屋、4~5人用会議スペース２部屋を整備予定）
・ギャラリースペースにおいて、絶えずデザイナー、クリエイター、アーティストの展覧会が開催されている状態

●現在の状況と3か月後の目指したいゴール

・物件の目処は立っており、何度か内見をし、リノベーションにどの程度の費用がかかるのかを計算している段階です。また「移住定住センター」や「観光DMO」なども連携を表明してくれており、ひとつの物件を整備するだけでなく、エリア全体を新たなまちの資産にできるようなスキームを模索しています。
・３ヶ月後には、都市圏企業でのワーケーションニーズが把握できていること、具体的にどのような営業形態にすれば持続的に事業を回すことができるようになるのかを明確にしたいと考えています。

こんな人に来てもらいたい！必要スキル	・新規事業の立ち上げに関心がある方 ・地域内での新たな事業に関心がある方 ・ワーケーションに興味がある方 ・ワーケーション需要について社内アンケートを取ってくれる方
報酬（パターン）	PlanA　月３万円程度（お支払い方法や契約形態は別途ご相談）
法人の概要（法人名、法人事業内容、所在地、予算規模、スタッフ数など） ＊個人の場合はそれに相当する情報	memento mori（個人事業） 所在：宮城県気仙沼市三日町